

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅲ 維持管理の最適化 【2】 戦略的な維持管理 施策22 】

ライフサイクルコスト改善技術を導入した防雪柵を採用

工事名：一般国道7号 仁賀保本荘道路 本荘地区防雪柵設置工事

概要：（従来）

ユニック車による建込・収納

⇒

（今回）

ウインチ・油圧装置による建込・収納

効果

①従来はユニック車等による建込・収納作業が主流だったが、電動ウインチ及び油圧装置による建込・収納作業が可能な防雪柵の採用により、毎年の建込・収納作業の効率化及び交通規制の簡略化によりライフサイクルコストの改善が図れる。

②初期投資・維持管理費を、**20百万円/10年**から**8百万円/10年**に改善。

（改善額12百万円/10年 改善率約60%）

従来

（ユニック車による作業）



※暫定2車線における高速道路の場合、片側交互通行規制を伴う作業は夜間施工であったが新技術の活用により路肩規制の昼間施工が可能



今回

（電動ウインチ・油圧装置による作業）



「自動収納型高機能防雪柵 (TH-080002-A)」新技術情報提供システムNETISより